

プーチン：法王フランシスはサタンのために働いている

ロシア大統領ウラジミール・プーチンが、カトリック教会のトップを暴露

【訳者注】おそらく世界で最も尊敬され信頼されている政治家、プーチン大統領が、法王フランシスに対して、これほど明敏に見抜き、かつ正直で、遠慮会釈のない非難を浴びせたということは、プーチンをどう考えるかに関わらず、地球人民すべてにとって、特記すべき大ニュースのはずである——が、報道はされない。なぜこの発言が新鮮に見え、救われたような感じを与えるか？ それは我々が日頃、ほとんど嘘で固めた、嘘の透けて見える、ニュースにしか接していないからである。これが“西側”にとってどれだけ不幸なことか、はかり知れない。これは嘆くだけでは済まされない。嘘つきの世界では嘘つきが当たり前、ペドフィリアの世界ではペドフィリアが当たり前、というような社会にならないようにするためには、我々一人ひとりの見抜く目がそこにかかっている。

Jay Greenberg, www.neonnettle.com

January 5, 2018



プーチンが、法王フランシスを、サタンの手下だと暴露した
(訳者：現実に面談したわけではない)

ロシア大統領ウラジミール・プーチンは、法王フランシスを公然と非難し、彼を「サタンに奉仕する者」だと暴露した。 <http://www.neonnettle.com/tags/vladimir-putin>

ロシアのリーダーは、公然と、カトリック教会のリーダーの正体を暴露し、彼はキリスト教信仰を代表する者でなく、彼の忠実な信徒を間違った方へ導く計画をもった、悪魔の使用人であると言った。 <http://www.neonnettle.com/tags/russia>

今再び、プーチンは、グローバル・エリートに立ち向かい、世界の市民を擁護することによって、世界がずっと前から持っている、最も洞察力ある、最も正直なリーダーであることを証明した。 <http://www.neonnettle.com/tags/elite>

過去数か月にわたって、多くの人びとは、法王の教えが、伝統的なキリスト教の価値から離れていくように見えたので、彼の動機が何であるかを疑い始めていた。

<http://www.neonnettle.com/tags/pope>

地球上で最も力をもつ宗教的人物に対する、このプーチンのコメントは、これまででも最も鋭く事実を見抜いたものだった。西側の世俗的リーダーだけでなく、たいていはこの男、ホルヘ・ベルゴリオを法王だと思っている、地球上の10億のほどのカトリック教徒は、注目すべきである。



法王フランシスは、イエスとの関係は避けるべきだと信徒たちに語った

このロシア大統領の声明は、彼がクロンシュタットの、セント・ニコラス海軍寺院を訪問したときに発表されたものである。 <https://antoniusaquinas.com/2017/08/07/vladimir-the-great-sums-up-pope-francis-the-fake/>

プーチン氏は、簡潔に、法王フランシスが何でないかを要約している：――

「もし彼（法王）が言っていることを見回してみるなら、彼が神の人ではないことは明らかである。

「少なくともキリスト教の神でなく、聖書の神ではない。

「彼は、伝統的なキリスト教の価値を破壊しようと画策する、サタンに奉仕する者 だ。」

このクレティン病患者（＝白痴）が、2013年に悲惨な法王統治を始めて以来、一人の世界のリーダーが、彼についていった言葉で、これ以上、真実をついた言葉は他にない！

プーチン氏と“見る目と聞く耳をもつ”人々が、“法王フランシス”はキリスト教徒ではないと認めているが、現在、聖ペテロの椅子を占めている者は、神学的理由で、その地位の資格を持たない者である。

合法的な法王であるためには、人は「ローマ司教」でなければならず、司教になる前に、司祭でなければならない。

ホルヘ・ベルゴリオは、教会の伝統的な使徒任命式で、任命されなかった（1969）上に、その儀式で、真の司教として、聖職に任命されることもなかった（1992）。

彼の前任者ベネディクト 16 世も、伝統的な儀式では任命されていない。ただし、“古い儀式”の下で司祭に任命されてはいる。

簡単に言えば、ホルヘ・ベルゴリオは、法王の仮面をかぶっている俗人にすぎない。これは、「第 2 ヴァチカン反会議」（1962－65）の余波を受けて発効した、新しい儀式の下で叙階を受けた、すべての他の司祭や司教に当てはまる。

法王フランシスが、プーチンや他の洞察力ある評者が言ったように、キリスト教の詐欺であるだけでなく、世俗的な問題でも、彼はネオ・マルクス主義者、“一世界政府”主唱者、国境開放と大量移民の推進者である。言い換えれば、まだ残っている西洋文明に対する、敵である。

プーチン氏は、彼の「世俗的な罪」を正確に説明している：――

「法王フランシスは、世界中の弱い人々、その地位のために彼を信頼する人々に対して、危険な、極左の政治イデオロギーを押し付けるために、自分の発言の場を利用している。

「彼は、“一つの世界政府”と、地球的共産主義の抑圧のシステムを夢見ている。

「我々がこれまで、共産主義諸国に見てきたように、この制度は、キリスト教とは相容れないものである。」

これらの軽蔑すべき特質がまだ十分でないというなら、プーチン氏があげていない、もっといかがわしいベルゴリオの一面がある。

法王フランシスは、今、教会の大セックスかつ横領スキャンダルを指揮した、3番目のペドファイル法王である。

フランシスも、彼の放漫な2人の前任者（ベネディクト16世、ヨハネ・パウロ2世）も、彼らの管理下にある子供捕食者たちを、罰したり、根絶するために、何ひとつ行動しなかった。

それどころか、フランシスは、今はよく知られた「私が誰を裁けというのだ」という言葉によって、異常な性行動を奨励した。

この墮落行為はずっと継続して起こっており、最も新しいのは、このアルゼンチンの異端者の鼻の下で起こっている。

教皇評議会の秘書 Francesco Coccopalmerio のヴァチカン居室で、昨7月、“ゲイ”の乱痴気パーティーをやっている現場が、警察に急襲された。

<http://www.neonnettle.com/news/2361-police-raid-gay-orgy-at-the-pope-s-key-advisors-vatican-apartment>

参考資料：「警察が、法王の重要アドバイザーのヴァチカン居室で、ゲイ・パーティーを急襲」<http://www.neonnettle.com/news/2361-police-raid-gay-orgy-at-the-pope-s-key-advisors-vatican-apartment>

警察は、この乱交パーティーにかかわっていたドラッグと男たちを発見した。

Coccopalmerio は、ベルゴリオが、司教への昇任を考えていた男だが、官憲によって連行され投獄された。

これは、ヴァチカンの主任財務官であるジョージ・ペルが、10人の子供たちへの性的犯罪

で起訴されたあとに、続いて起こったものである。

ペルはその後、恥辱のうちにローマを去り、起訴に応ずるために故郷のオーストラリアへ帰った。

関連ビデオ：「法王フランシス：イエスと関係を結ぶのは危険だ」

<https://youtu.be/sGH20H8AV2U>



アタナシウス・シュナイダー司教いわく：法王フランシスの教えはキリスト教とは「相容れないもの」

法王フランシスは、しばしば、彼を批判する者たちを、“反カトリック”だといって非難するが、現在では、この教団そのものの内部から、蜂起が始まっている。

昨年 11 月、カトリック教会の最高位の役人の一人だった人が、神が幻影の中で彼を訪れ、法王フランシスは「悪」であり「偽預言者」であることを、キリスト教徒たちに警告するようには言ったと、主張した。

関連資料：「高位カトリック教役人が、神が彼に対し、「悪」なる法王フランシスを暴露するように命令したと言う」 <http://www.neonettle.com/news/3073-top-catholic-church-official-says-god-told-him-to-expose-evil-pope-francis>

神父 Thomas Weinandy は、かつては、カトリック司教アメリカ会議の教義主任だったが、法王フランシスを暴く手紙を公表し、神からの「明瞭な知らせ」があり、これを書くようにという「使徒命令」を確信したと言って以来、解雇された。

この手紙は、法王フランシスの政策は、「根深い混乱」、教義を貶しめること、それに「恐怖の文化」を利用して「悪なる New World Order アジェンダ」を導き入れることが、その特

徴だと暴露している。

ワイナンディによると、神は彼に対し、フランシス、本名ホルヘ・マリオ・ベルゴリオは、彼の権力と影響力を利用し、彼に従う信徒たちを導いて、伝統的なキリスト教の価値から離れさせ、「サタンの政略」に近づけようとしている、と告げた。・・・(以下、数頁略)